

第 24 期 地球惑星科学委員会(第 6 回)及び地球・惑星圏分科会(第 5 回)合同会議議事録

日時：2019 年 5 月 26 日(日)17:30-20:30

場所：幕張メッセ国際会議場 101 室

参加者：木村 学*，高橋桂子，田近英一*，中村 尚*，春山成子，藤井良一*，東 久美子*，石渡 明*，伊藤香織，植松光夫，大久保修平*，小口 高，奥村晃史*，蒲生俊敬，川口慎介，川幡穂高*，北里 洋*，近藤昭彦，齋藤文紀，佐々木晶*，佐竹健治，佐藤 薫*，杉田 文，鈴木康弘，関 華奈子*，高薮 縁*，張 勁，佃 榮吉，津田敏隆*，中島映至*，中村卓司*，新野 宏*，西 弘嗣*，西田治文，西山忠男，花輪公雄*，氷見山幸夫，平田 直，福田洋一*，古屋正人*，堀 利栄*，村山泰啓，森田 喬，薮田ひかる*，山形俊男*，山岸明彦*，山田育穂，(敬称略)

欠席者：川村 光*，相川祐理*，伊藤 悟，碓井照子，江守正多，大久保泰邦，大路樹生，大谷栄治*，沖 大幹，沖野郷子，久家慶子*，小嶋 智，三枝信子，篠田雅人，新永浩子†，寶 馨，谷口真人，永原裕子*，中田節也，中村正人*，林 正彦，原田尚美*，益田晴恵*，村山祐司，八木谷 聡，安成哲三，矢野桂司，山岡耕春*，山川充夫，渡邊誠一郎*，渡部潤一* (敬称略)

* 地球惑星科学委員会委員と地球・惑星圏分科会委員を兼任

† 地球・惑星圏分科会委員

事務局：参加なし。

●議題

議事に先立ち、藤井委員長より、日本学術会議の財務状況について説明があり、今回旅費支給なしでご参加いただいたことへの感謝が述べられた。また、田近副委員長より、今回の議事の概要について説明があった。

1. 前回議事録の確認

前回の議事録が承認された。

2. 前回以後の委員会及び分科会活動について

- ・ アクションアイテムになっていた夢ロードマップ改訂については、特に地球生命科学のロードマップの文言の改訂をお願いした旨、説明があった。
- ・ 地球・人間圏分科会の活動について、資料 24-6-2a をもとに報告があった。2019 年 12 月に公開シンポジウムを開催予定である旨、説明があった。
- ・ 人材育成分科会の活動について、資料 24-6-2b をもとに報告があった。高等教育については、各大学へのアンケートの実施、大学・大学院改革等に関する現状分析及び議論の内容について説明があった。明日開催予定の全国地球惑星科学系専攻長・学科長会議で詳しい報告を行う旨のアナウンスがあった。また、初等・中等教育に

関わる小委員会は6月に開催予定である旨、報告があった。

- ・ IGU 分科会の活動について、資料 24-6-2c をもとに、公開シンポジウム「日本における地名標準化の現状と課題」の開催と、この課題に関わる「地名標準化の現状と課題」報告が現在第三部で査読中であること等の報告があった。また、今年度の予算執行に関する問題点が指摘された。
 - ・ 年2回開催が必要な分科会についての予算削減への対応が議論になり、旅費も謝金も辞退することができるが、謝金を旅費には流用できないことが述べられた。また、直接集まれないならば、せめて zoom の利用ができるようにしてほしいという強い要望があり、そのようお願いしている旨、説明があった。
 - ・ IUGG 分科会からは、資料 24-6-2d をもとに、IUGG100 周年記念のユニオンセッションが5月30日に開催予定であること、分科会も開催予定であること等について、報告があった。
 - ・ SCOR 分科会からは、資料 24-6-2e をもとに、日本学術会議公開シンポジウム「海洋観測における研究船の役割：成果と展望」を開催したこと、「学術の動向」で特集「研究船による海洋観測：地球環境問題解明と社会への成果還元に向けて」を組む予定であること、SCOR-日本海洋学会合同公開シンポジウムを9月に開催予定であること等、報告があった。また、この合同公開シンポジウムを日本学術会議地球惑星科学委員会の協賛とすることを承認した。
 - ・ 地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同地球環境変化の人的側面(HD)分科会からは、資料 24-6-2f をもとに、Future Earth, SDGs 等に関連した人的側面と科学をつなげるために行っている活動や、今年10月に2回目の公開シンポジウムを開催予定であることなどについて、報告があった。
 - ・ FE・WCRP 分科会からは、資料 24-6-2g をもとに、公開シンポジウム「Future Earth 時代における地球表層システム科学と防災・減災研究」を今年8月に開催予定であることの報告があった。また、GEWEX 小委員会についての報告もあった。
 - ・ 地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会地球観測将来構想小委員会の設置について(資料 24-6-2h)、承認された旨の説明があった。
 - ・ IUGS 分科会から、チバニアンの問題について、現状報告があった。
3. JpGU ユニオンセッションにおける地球惑星科学分野の大型研究計画ヒアリングの実施及び評価の方針について
- ・ 田近地球・惑星圏分科会委員長より、資料 24-6-3 とスライド資料に基づき、大型研究計画の選定について、経緯と選定方法について説明があり、ヒアリングにおける評価方法について以下の提案があった。
 - ✓ 資料 24-6-3b にある6つの評価項目(i. 学術的意義、ii. 科学者コミュニティの合意、iii. 計画の実施主体の明確性、iv. 計画の妥当性、v. 共同利用体制の充実度、vi. 社会的価値)については、3段階絶対評価(1.劣る, 2.普通, 3.優れて

いる)を行う。

- ✓ 各項目の評価の他に、総合評価を行う必要がある。ヒアリングでは、日本学術会議会員及び連携会員については、資料 24-6-3b にある 6 段階（1,2 を除き 3～6 については相対評価）で、一般参加者については資料 24-6-3c にある 3 段階評価で願います。また、総合評価においては、上記の 6 つの評価項目のうち、i. 学術的意義と ii. 科学者コミュニティの合意、を特に重視して評価を行っていただく。

- ✓ 評価が 5 件未満の方のデータは、統計的な処理には使用しない。

- ・ 質疑応答を行った結果、上記の評価方法が承認された。

4. 評価の取り扱いについて

- ・ 評価結果の取り扱いについては評価小分科会に一任いただきたい旨提案があり、承認された。
- ・ 提案者には、今回は当該課題の評価結果とコメントのみを返すことになった。
- ・ 会員・連携会員については、コメントも含めて情報共有していただいた方が、助言をしやすいとの意見があり、提案者の同意が得られた課題については、評価結果とコメントを評価者にも開示することになった。

5. 地球惑星科学分野の夢ロードマップの改定について

- ・ 藤井委員長から、資料 2-6-5 に基づいて、地球惑星科学分野の夢ロードマップについて、前回からどのような改訂を加えたかについて説明があった。
- ・ 今後公開する際の方針について、議論を行った。
- ・ 改訂案については一週間を目処に最終確認をお願いし、問題なければ、今後公開する段階に進むことについてお認めいただきたい旨、藤井委員長から提案があり、承認した。

6. その他

- ・ 特になし。